

代表質問

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して6人の議員が質問し、活発な議論を展開しました。その概要は、次のとおりです。

なお、各会派の紙面の割合は、会派所属議員数に応じて案分しています。

会 派 名	議員数	質問時間
水 曜 会	14人	120分
公 明 党	7人	120分
誠 友 会	6人	120分
市 民 連 合	4人	120分
新政クラブ	3人	120分
日本共産党	3人	120分

*代表質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)

水曜会



いまおか
芳徳

新たな挑戦への思いは

問 市長は、総体説明で、1期目の継続ではなく「新たな挑戦」であると決意を述べたがその思いは。

また、2021年度予算の重点政策に3つの柱を掲げている

が、福山みらい創造ビジョンにおける3つの柱の位置付けは。

答

2期目は新型コロナウイルスの影響から困難な状況でのスタートとなったが、5つの挑戦を進展させ変化を確かな成果につなげていく。コロナ時代の新しい都市づくりに向けた「新たな挑戦」でもある。

また、安心のための「新型コロナウイルス感染症対策の強化」、希望を感じる「都市魅力の創造」「人口減少対策の強化」、この3つをビジョンの重点項目に位置付け、実現に向けて全力で取り組む。

新型コロナウイルス対策は

問

①感染防止対策と市民生活、社会経済活動の両立のために、2021年度はどう取り組むのか。

②ワクチン接種の課題と対応は。

答

①市民生活と社会経済活動を停滞させないためにも、感染状況に応じた効果的な感染防止対策を素早く講じる。

また、市民生活の実状把握に一層努め、コロナ禍の影響を受けやすい方々の生活を支え、市民、事

次期ごみ処理施設の建設は

問

次期ごみ処理施設の概要は。また、今後の工事スケジュールは。

答

現在は、3つの焼却施設とごみ固形燃料工場で燃やせるごみ等の処理を行っている。新しい施設では、既存の4施設を1カ所に集約し、府中市、神石高原町との広域処理体制を構築する。

施設の規模は地下1階、地上6階建てで、焼却施設や粗大ごみ処理施設のほか、余熱を利用した発

業者の皆さまにしっかりと安心を届けていく。

②現時点での課題として、市民向けの接種に使用するワクチンの供給時期、供給量の全体像が示されていないため、集団接種会場の開設日や医療従事者の必要数が確定できないこと、ワクチンの配送体制が十分確立できていないことがある。

引き続き、国からのワクチンの供給情報を注視し、集団接種と個別接種の開始時期を柔軟に調整していく。



次期ごみ処理施設 完成イメージ図

建築工事、来年8月にプラント工事にそれぞれ着手し、2024年8月には本格稼働の予定である。

電設備や来場者の見学設備などを設けることにしている。焼却施設は3炉構成で1日当たり600トン、粗大ごみ処理施設は1日16トンの処理能力を有する。

現在は実施設計を行っており、今年4月に造成工事、9月に土木・建築工事、来年8月にプラント工事にそれぞれ着手し、2024年8月には本格稼働の予定である。

* 3月定例会の代表質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。